上田八木短資

ウィークリーシグナル

2023年4月28日

<来週の資金需給予想とイベント予定>

（単位：億円）

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
5/1 (月)	▲ 900	▲ 22,400	▲ 23,300	国債発行･償還（2年）	国債補完供給 ＋ 48,500		
5/2 (火)	▲ 3,000	トン	▲ 3,000				米：FOMC（3日まで）
5/3 (水)	憲法記念日						米：FOMC・パウエル議長会見
5/4 (木)	みどりの日						欧：ECB政策金利公表・ラガルド総裁会見
5/5 (金)	こどもの日						米：雇用統計（4月）
5/8 (月)	＋ 2,000	▲ 42,000	▲ 40,000	法人税･消費税･保険揚げ 社会保障費の支払い 国庫短期証券 発行･償還（3M）			日：日銀金融政策決定会合議事要旨 （3月9日・10日開催分）
5/9 (火)	＋ 3,000	トン	＋ 3,000				
5/10 (水)	＋ 2,000	▲ 29,000	▲ 27,000	国庫短期証券 発行･償還（6M） 国債発行（10年）	共通担保（全） ▲ 10,895		日：景気先行CI指数（3月） 米：CPI（4月）
5/11 (木)	＋ 1,000	トン	＋ 1,000				日：日銀金融政策決定会合における主な意見 （4月27日･28日開催分）
5/12 (金)	＋ 1,000	▲ 14,000	▲ 13,000	国債発行（30年）	被災地金融機関支援 ▲ 896		

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初24日、国債買入オペ等により、前営業日比＋2兆9,400億円の555兆3,100億円から始まった。その後は減少要因として申告所得税の受入等があったものの、増加要因として国債買入オペ等もあり、552兆9,200億円で越週した。

無担保コールON物加重平均金利は週初、前営業日比▲0.003%の▲0.013%から始まった。その後もビッドサイドの調達意欲の弱まりを背景に、25日には▲0.019%、26日には▲0.031%、27日には▲0.049%と低下の一途を辿った。28日は月末営業日のため調達を控える先もあり、▲0.073%（速報値）で越週した。

ターム物は1W～2W物を中心に、主に▲0.040%～▲0.010%の水準で出合いが見られた。

日銀は27日・28日に開催された金融政策決定会合で現行の金融政策の維持を発表し、金融政策運営について、１年から１年半程度の時間をかけて、多角的にレビューを行うこととした。

来週以降の主な予定は、国内で5月8日に日銀金融政策決定会合議事要旨（3月9日・10日開催分）の公表、10日に景気先行CI指数（3月）の公表、11日には日銀金融政策決定会合における主な意見（4月27日・28日開催分）の公表や貿易収支（3月）の公表などがあり、海外では5月2日･3日に米FOMC、4日にECBの政策金利の公表、5日に米雇用統計（4月）の公表、10日に米CPI（4月）の公表などが予定されている。

［無担保コールレート］

	予想レンジ（%）
O/N	▲0.087 ～ 0.001
1M	▲0.020 ～ 0.020
2M	0.010 ～ 0.050
3M	0.000 ～ 0.130
6M	0.000 ～ 0.150

［オープン市場］

	予想レンジ（%）
現先 (on/1w)	▲0.050 ～ 0.000
CP 3M	0.000 ～ 0.01

<レポ>

足許GCは週初▲0.12%から出合い始め、▲0.125%～▲0.11%のレンジで推移した。月末跨ぎとなる27日の取引では▲0.20%近辺まで低下。金融政策決定会合2日目となる28日の取引では▲0.15%が取引の中心となった。

SC取引は2年438～447回債、5年149～157回債、10年350～370回債、20年180～184回債、30年65～78回債、40年13～15回債などに引合いが多く見られた。

<CP>

今週の入札発行総額は約1兆8,600億円で、週間償還額（約1兆7,900億円）を上回った。発行市場は、月末に向けて石油や不動産業等の大型発行が見られた他、幅広い業態で発行がみられ、活況なマーケットとなった。発行残高は先週末時点の23兆4,652億円から27日時点で24兆3,278億円に増加した。発行レートは、０%から小幅なプラス圏での出合いが中心であった。25日にCP等買入オペが予定通り4,000億円でオファーされた。結果は、按分レート0.003%（0.002%）、平均落札レート0.015%（前回0.011%）と按分レート・平均落札レート共に前回比で上昇した。

来週から5月12日までの償還額は、約8,900億円となっている。発行市場は大型連休となり既に資金手当てを行った企業も見られることから、連休前は落ち着いたマーケットを予想する。連休明けは５・10日発行が重なることから相応の発行が見込まれる。発行レートは、０%近辺での出合いが中心となることを予想する。5月1回目のCP等買入れオペは、連休明け11日に4,000億円程度でオファーされる予定。

<TDB>

今週のTDB入札は実施されなかった。

来週以降には5月2日（第1154回）と12日（第1156回）に3Mの入札、9日（第1155回）の入札が予定されている。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社　登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243号　加入協会 日本証券業協会